

教職員・院生版生協だより

かけはし

No. 262

2005年 11・12月号

発行 名大生協理事会

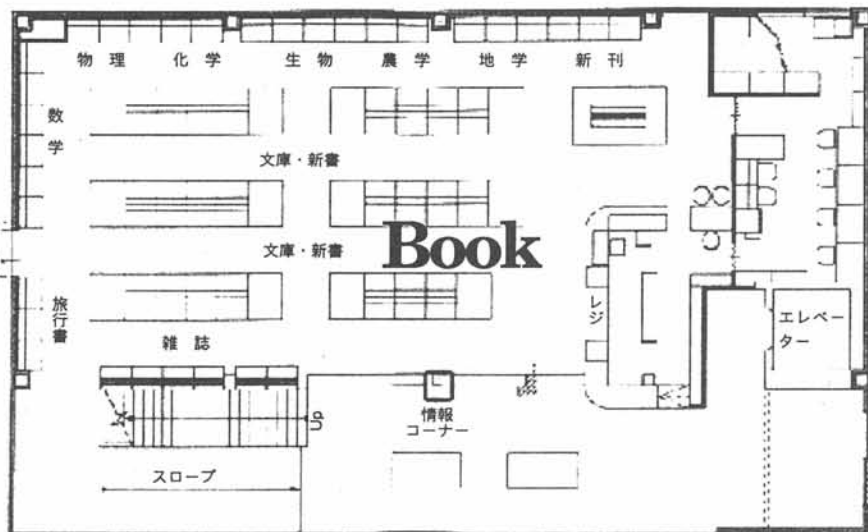
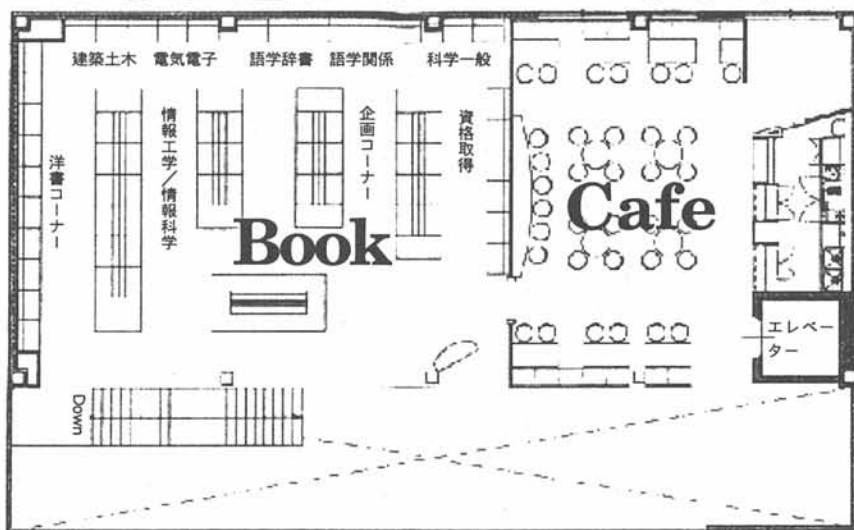
編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111

来春理系にこんなお店がオープンします

2階

ブック&カフェ



1階

ブックショップ

名大生協のホームページ (URL) <http://www.nucoop.jp/>
教職員委員会への e-mail あて先 kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

もくじ

主張「皆さんの「声」を活かし、「広く、明るく、きれい」なお店
をめざしますー第1理系施設（ブックショップ&カフェ）の着工に
あたってー」----- 3

【報告】

第1回生協総代・組合員懇談会の報告----- 4
教職員委員会の活動日誌----- 13

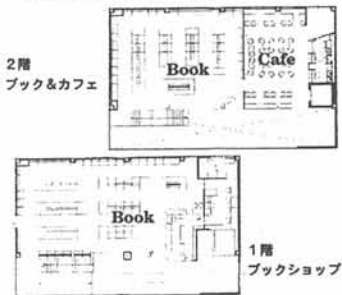
【企画案内】

第18回音としゃべりの金曜サロン「三味線やそすけライブ」-- 5
農業を極力使わない安全・安心な生協みかんの産地見学----- 5
冬の組合員交流企画「ハウルの動く城」「赤ちょうちん」----- 6

【記事】

新フィールドノートーその91ー「武蔵野の雑木林」----- 7
投稿「インドネシアの交通事情」----- 8
ニュースに一喝！「賽の河原の石積み」----- 10
ひとりごと「国連発足60年に考える」----- 11
魔言「再び授業アンケート」「葬式屋」----- 12
かけはしの輪----- 14
アンケート・クイズ解答用紙----- 16
C O - O P Q U I Z <Logic>----- 17
教職員組合員加入・増資キャンペーン実施中----- 裏表紙

来春理系にこんなお店がオープンします



表紙の「声」

生協が理系に総合的な施設を提案したのが2001年秋の大学との懇談会の席上であったと思う。その時の理事長は現副総長である若尾先生であった。生協で独自に設計図面を作り、翌年3月にはかけはしの表紙に「あつたらいいなこんな理系が」と構想図を載せて宣伝してきた。あれから4年の早さで来春ブック&カフェとしてオープン運びとなった。教職員にとつての4年はアツという間に感じるが、学生にとつての4年は当時アンケート活動等に活躍していた学生は来春卒業となり、利用できぬままとなってしまった。来年の新入生は新しくオープンする100坪を越える広い書籍を利用して大いに勉学に励んでもらいたいものだ。
(みのうら)

主張

名古屋大学東山キャンパスの生協施設の中でもっとも古い建物であった理系中華食堂が取り壊され、同場所に、来春の竣工・オープンに向けて、まもなく(仮称)第1理系施設(ブックショップ&カフェ)の建設がはじまります。

理系地区に総合店舗を

東山キャンパスの理系地区(四谷通りの北東地域)は、従来の工・農・理に加えて、環境総合館、理学館、野依記念館などの建物が完成し、「居住人口」が増え続けていました。そんな変化の中で、福利厚生施設として、規模の小さな理系ショップなどを除けば書籍・購買のお店がなく、多くの方が四谷通りを越えて北部厚生会館に足を運んでいます。理系地区の組合員からは「理系地区に書籍・購買の総合店舗が

ほしい」という声が出ていました。

このたび大学当局の英断により、元理系中華食堂のあった場所に、100坪を超える売り場面積をもつブックショップとカフェが来春誕生することになりました(購買のお店については、現北部厚生会館の売り場を充実させます)。

皆さんの「声」を活かし、「広く、明るく、きれい」なお店をめざします

——(仮称)第1理系施設(ブックショップ&カフェ)の着工にあたって——

新施設へ期待の「声」

名大生協では、新しい施設の建設に際し、組合員の「声」を募ってきました。このアンケートには、9月末までに101人から回答を寄せていただきました。アンケートでは、書籍の品揃

えで「理工専門書」の充実を望む声が82%、書籍・雑誌の在庫の充実を望む声で59%と際だっていました。カフェではどんなメニューを希望されるか尋ねたところ、コーヒー45%、手作りパン46%、サンドイッチ46%、スバゲッティ37%などの要望がありました。

二つの店舗がオープンした際

られた「声」を活かし、「広く、明るく、きれい」なお店になるよう努力する所存です。

アンケートでは、理系地区にブックショップが開店した場合の現北部厚生会館1階の書籍部について、規模は縮小したとしても「残してほしい」という声が寄せられました。

なお第1理系施設の建設に続き、現在の「理系カフェテリア」についても改修が予定されていますが、アンケートでメニューの希望を尋ねたところ、総菜の充実53%、魚料理44%、どんぶり物42%、サラダ34%、中華料理31%、肉料理28%などの要望が寄せられました。

引き続きご意見を

アンケートに答えていただいたみなさん、ありがとうございます。名大生協では、可能な限り皆さんのご意見に、応えていく所存です。どうぞ引き続きご意見をお願いします。

の営業時間の希望について尋ねたところ、ブックショップについては開店が9時〜10時、閉店は19時頃を望む声が多く、カフェの営業時間については開店が8時〜10時(少しばらつきがあります)、閉店は20時〜21時頃を望む声が多くありました。名大生協では皆さんから寄せ

生協の取り組みについて

和やかに懇談

去る10月20日木曜日の夕方と、10月21日金曜日の昼休みにそれぞれ北部厚生会館2階「ゆくとん」、グリーンサロン東山において第1回生協総代・組合員懇談会を開催しました。

20日は6名、21日は5名の総代・組合員の方に参加いただきました。

昨年の総代懇談会で、「理系地区にも総合的な店舗が早くできるといいね」と話していましたが、とうとう理系地区に生協と大学との協定が結ばれ「ブックシヨップ&カフェ」が来年5月にオープンします。また、理系カフェテリア食堂も全面的に改修され、一体感のある理系地区の福利厚生施設となります。ブックシヨップは10坪の大きさになり、より一層教育・研究面でのサポートが出来るようになります。また、カフェについてはオープン前に提供する飲物や食事について、試飲と試食会を行いながら決めていきたいと考えています。一方、書籍部が移動する予定

の北部厚生会館では売り場の再配置を考えています。

印刷・情報サービス部を南部から移動、旅行・サービスセンターの拡充、自転車コーナーの新設などを考えております。出来れば週刊誌・月刊誌などの雑誌コーナーは残してほしいと個人的に思っています。皆さんからのご意見をお待ちしています。

出された意見としては、校費関係の書類は手書きは時間がかかるので電算化できないか。アスクルのようなカタログを作り、研究室に置くとともに生協のホームページから買物ができる。文具類や周辺機器及び消耗品、薬品(無理か)などのストックセンターをおき、即時学内配達システムを作る。生協の配布物は回覧するので少数でよい。利便性最優先はおかしい。安心・安全なものを提供することを追求してほしい。などが出されました。

生協の現在の取り組みとして、読書マラソンコメント大賞に228

通の申し込みがあり、最終選考作品25点をコメント付きで書籍部にて陳列します。名古屋大学環境報告書に生協の環境への取り組み(缶&ペットボトルの一元回収および学内資源古紙(ロールペーパー化)と牛乳パック回収状況)を報告します。

また、要望の多かった理系シヨップの閉店時間を10月31日、月曜日より夜10時閉店に1時間延長します。反対に、共通教育店は構成者数の減少により1時間繰り上げ16時閉店とします。

最後に、教職員委員会の秋以降の企画で、愛岐三山ハイキングとパーベキュー(11/3)生協みかんの産地見学(11/23)、第18回音としやべりの金曜サロン「三味線やそすけ」(12/2)を紹介しました。是非、皆さんもご参加ください。

これからも、特に生協総代の皆さんには生協に対しての意見やご要望、ご提案をよろしく願います。

第18回「音としゃべりの金曜サロン」のご案内

『三味線やそすけライブ』

出演：三味線やそすけ

日時：12月2日(金)
18:00～20:00

会場：レストラン花の木

参加費：3,000円(夕食付き)

定員：30人(完全予約制)

今回の「音としゃべりの金曜サロン」は名古屋を中心に活躍されてる三味線「やそすけ」さんの登場です。洋楽との共演やモダンダンス、フラメンコなどとの合作・共演活動を開拓し、人形劇団むすび座と共に三味線弾き語りによる人形芝居「雪をんな」を創って全国各地を巡演。さらに地元での三味線ライブなど、多彩かつユニークな文化活動をされています。三味線の演奏とトーク、そして美味しい食事をとりながら一緒に楽しみましょう。

参加申込はE-mailで kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp。



農薬を極力使わない

安全・安心な生協みかんの産地見学

.....
めいきん生協の店では安全・安心な”細江町のみかん”を販売しています。産地は、静岡県引佐郡細江町気賀・細江農民組合です。晩秋の祝日、見て、食べて、交流して、紅葉の中を歩いてリフレッシュをしましょう！
.....

日時：11月23日(祝) 8:00～16:30(予定) 集合：地下鉄名古屋大学1番出口付近
行先：細江農産物供給センター(静岡県引佐郡細江町気賀9115-1)

募集：14人(先着順)、ワゴン車2台分乗

参加費：1,000円 小学生以下 500円

[昼食は持参するかコンビニで購入]

企画：名大生協教職員委員会

- ・安心安全な生協みかんが食べれます
- ・安心安全な生協みかんが購入できます
- ・みかんの集荷場の見学ができます
- ・みかんの生産者との交流ができます
- ・帰りに温泉に入れます

冬の組合員交流企画のご案内

映画 (DVD) 上映会
入場無料

作品 ハウルの動く城

(119分)

日時 12月6日 (火) 17:30～

場所 北部2F ゆ〜どん

主人公の少女ソフィーは18歳。ある夜、ソフィーは、荒地の魔女に呪いを掛けられ、90才のお婆ちゃんの姿に変えられてしまう。ソフィーは荷物をまとめ、ハウルの棲む城があるという、人里離れた荒地を目指すのだった。



語らいと交流の夕べ

赤ちょうちん

1人1回限り有効の前売り500円チケット (約15%Off) は、お酒

または缶ビール1本とおでんとおつまみ1品付きです。前売りチケット購入希望者はkyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jpにて受け付けています。

月日 12月7日 (水)

時間 17:30～19:30

場所 北部2F ゆ〜どん



冬の組合員交流企画

語らいと交流の夕べ

赤ちょうちん

割引券 (全品5%Off)

合計金額の5%を端数10円単位で割引きます

いつ: 12月7日(水)17:30～19:30ころ

どこで: 北部厚生会館2F ゆ〜どん

めにゆー: 缶ビール・お酒 各200円

名大学章入り地ビール400円

(お持ち帰りは割引対象外です)

おでん(1本) 60円

おつまみ(1品) 150円

(焼きそば、串カツ、唐揚げ、肉じゃが)

企画は名大生協教職員委員会

冬の組合員交流企画

語らいと交流の夕べ

赤ちょうちん

割引券 (全品5%Off)

合計金額の5%を端数10円単位で割引きます

いつ: 12月7日(水)17:30～19:30ころ

どこで: 北部厚生会館2F ゆ〜どん

めにゆー: 缶ビール・お酒 各200円

名大学章入り地ビール400円

(お持ち帰りは割引対象外です)

おでん(1本) 60円

おつまみ(1品) 150円

(焼きそば、串カツ、唐揚げ、肉じゃが)

企画は名大生協教職員委員会

武蔵野の雑木林

情報科学研究科 広木詔三

久しぶりにフィールドワークに出かけた。七月十七日から十九日にかけて東京の八王子市近郊を歩いた。去年の秋にあちこち出歩いて以来である。

今年の三月に情報科学研究科の修士課程を卒業した神谷（かみや）君は、アベマキとクヌギの雑種を遺伝子で検討するというテーマで研究を行った。

彼にはRAPD法によるDNA断片の変異パターンから雑種を推定する方法を勧めたのだったが、種特異的マーカーを検出する方法に彼は固執した。そこで形態学的な性質も調べるといふ条件で了承した。

アベマキの葉裏には肉眼では見分けられない先が枝分かれした微小な星状毛が無数に存在する。それに対してクヌギの葉裏には星状毛は存在しない。アベマキは高温・乾燥に耐えるが、そ

れはその葉裏の星状毛が気孔から出た水蒸気を滞留させ、過剰に蒸散するのを防ぐことができるところである。

神谷君は結局アベマキとクヌギの種特異バンドの検出には成功しなかった。両者の遺伝的距離で何とか論文にまとめた。また、星状毛による形態学的検討では、飯田市あたりから伊那市にかけて交雑帯が存在することをつきとめた。

私は、アベマキの分布していない地域でクヌギのみの星状毛の有無を確認してみようと思いついた。てっとりばやく行ける場所として、八王子市近郊を選んだ。かつては国木田独歩が本にも記した雑木林が国立や国分寺あたりにも残っていた。東京都立大学が八王子に移転した頃にはまだ雑木林も周辺にかなり残っていたが今はわずかである。

七月十七日、中央線に乗り高尾で降りた。二万五千分の一の地形図を見ながら市街地とは反対の方角を目指した。すると林業試験場浅川実験林に出会った。

かつてここで行われたヤチタモの種子発芽の実験に関する論文を思い出した。ここが浅川実験林かと感慨深く感じた。しかし、そこは人工的に樹木を植えたところである。目指すは雑木林のクヌギである。

少し先に進むと、武蔵野丘陵という墓地を取り巻く森林地帯に出た。ところがその周囲は鉄条網が張り巡らされていて一歩も入れない。夕暮れ近くなってきた。しばらくすると反対側の斜面に柵のない林が見えた。そこはお寺の裏山だった。ちょうど通りかかった住職に許可を得て、斜面を登った。少し暗くなってきたが、間違いなくクヌギがあり、いくつかの個体からサンプルを採集することが出来た。

次の日は八王子から横浜線に乗り、相原という駅で降り、雑木林を目指した。日差しがとて

まぶしかった。人家のわき道を通り、やみくもに林に向かった。林道は少しひんやりしていて、クヌギも見つかった。だが、数が少なすぎる。いったん林を突き抜けて、谷を越して次の林へと向かった。その間に住宅街が広がり、歩道は熱気をおび、歩くのが辛かった。谷津田（やつた）と呼ばれる関東地方特有の浅い谷間を挟んだ低い丘には雑木林が連なる。懐かしい風景だ。昼近くになると林の中でも明るい。谷までは田畑が放棄されたところもあるが、まだ耕作されている部分もある。そこはとても明るくて、目がちかちかする。クヌギの葉を探して上方を見上げると目まいがしてきた。その日は気温が異常に高かったせいもあるが、血圧を下げる薬が効きすぎているのだろう。とてもまぶしくて目を開けていられない。一瞬、黒沢明監督の映画の「まあだだよ」の世界に入ってしまったようであった。その日東京は三十度以上の真夏日を記録したということとはあとで知った。

インドネシア の交通事情

バイク

スラバヤで宿泊したホテルのレストランは道路に面している。朝6時頃、インドネシアの人々は早起きで、もう、町の中は随分な交通量だ。朝食をとりながら道を見ていつとも思うことがある。

スラバヤ市内には交通信号が少ない。そして、一方通行のところが多し。特に、主要道路は中央分離帯があるところは別として、そうでないところは、多くが一方通行。所々中央分離帯が開いていて、そこでUターンする。そういうところには信号があることもある。全部有るわけではない。だから、車の流れは時として途絶えることはあっても、常時流れている。昼間、外に出てみるとその車の喧嘩はすさまじい。

バイクの多さは、スラバヤ市内に限らない。見てみると、三、四台に一台は二人乗り、三、四〇台に一台は三人乗り、更に四人乗りもある。五人乗りを見たこともある。一人が子供をおんぶして運転し、もう一人も一人をおんぶし、その間に一人を乗せ

るのだ。危ないことこの上ないが、馴れと必要がそれをさせているのだろう。

一人乗りにも、凄いのがある。冷蔵庫を運んでいるのだ。後ろに乗ったのが、両手で冷蔵庫を支えている。軽業みたいだ。庶民はこうやって生活を防衛しているのだろう。

一時停車

日本の交通事情から見るとても危なくて見ておれない。小さな道から大きな道に出るのに一時停止などしない。一時停止の標識もない。総じて道路標識も道路標示も少ない。いきなり、大通りに出て行く。一時停止をして、車の流れの中に入れて貰うのを待っていたら、いつまで経っても入れない。左折、右折も同様。ほとんど信号はない。決して、停まって待つてはいない。三車線有る道路なら、右端にはいつでも右の方から飛び込んでくる。急角度に曲がれず、真ん中あたりに出てくる車もある。左は左から入ってくる。全くうかうかしておれない。その中を盛ん

に携帯電話をしながら運転してくるのだから、観念するほか無い。それでいて滅多に事故はない。横断歩道などほとんど無いから、人々は車の流れの中を悠然と渡る。急いで渡つてはいけない。却つて危ない。私も、スラバヤの中心街で、始めは恐ろしかったが馴れてくると渡れるから不思議だ。横断歩道橋も一つだけ有るが、そこには、常に何人かのものもらいが朝から晩まで坐っている。時には、いまにも死ぬのではないかと思われるような子供が寝かせてある。連れ



のものは、気の毒だからと、お金を置いていく。その明るる日もいた。今度はその子は涼しい顔をして寝ていた。その二、三〇分後に通った時にはいなかった。

日本人が運転したら忽ち事故だろうし、又、インドネシアの人達が日本で同じような運転をしたら、やはり事故か、お巡りさんのご厄介になるだろう。

高速道路

今回、バンドンからジャカルタのスカルノ・ハッタ飛行場まで車で移動した。前には、五時間かかった。去年もそうだったが、高速道路の工事中で、時間短縮が期待された。今度は高速道路が開通したから三時間有れば大丈夫だろうということだった。それでも余裕を見て、飛行機の出発時間の七時間以上前に出発プロの運転手だったから、飛ばしに飛ばし恐ろしいくらいだった。この様子では、随分時間をもてあますなと思った。ところが、暫くすると渋滞が始まった。ほとんど亀の子運転。十数メートルごとに停まる。ツールゲート

だ。その繰り返し。空港に着くまで数えてはいなかったが、五カ所はくだらない。その度に二、三キロの間渋滞、ゲートをくぐった途端に又次のゲート。腹立たしい。聞けば、どうも均一料金で、そこら中に関所を設けて料金を徴収するのだそうだ。よくインドネシアの人達は黙っているものだ。ゲートは最初と最後だけでいいと思うのだがそうはいかないらしい。

四車線有るところを時には七列ぐらいの列が出来る。ここでは、走行車線も追い越し車線も路肩もない。路肩からぐんぐん追い越す。小型車だけではない。バスも大型車もだ。緊急車が渋滞の中で往生している。ツールゲートでは一つのゲートに二列並んでいる所もある。早い者勝ちなのだ。それでいて、ちっとも争っているような場面には出くわさない。余程忍耐強い。悪戦苦闘の上、2時間前にチェックインせよと言われていたのに、1時間以上遅れた。インドネシアでは何が起るかわからない、というのは送ってくれた人の弁。

この渋滞の中を物を売りに来る人達がいる。町の中には一杯いるのを見るが、高速道路でもそうなのだ。そう言えば、高速道路を平気で横断しているお年寄りを見た。そうするほか無いのだろう。地下道も歩道橋もないのだから。

物売りとお買い

スラバヤは信号が少ないと行ってもないわけではない。停まると途端に、新聞を売りに来る、水も売りに来る、ギター片手につま弾きながら金を乞うもの、手ぶらで金品を乞うもの、わんさとやってくる。花まで売っているが、それはその先にデパートに適したところがあるからだ。もうだ。この物売りは、高速道路にもいること、前に書いたとおりだ。

バンドンでも同じ。バンドンはスラバヤより停まるころが多いから、商売もやり易いだろう。

行くものはかくの如きか

ともあれ、町を歩いていても、食堂から眺めていても一瞬

もとどまることなく次から次へと走り去る車、バイクの群れ、それぞれ目的地があるのだろうが、見ている限り走り通してである。孔子が川の畔で水の流れを見て「ゆくものはかくの如きか、昼夜をおかず」と言ったという。車の流れもそんな風に思える。

これを妨害するもの、路上駐車がほとんど無いのも流れをスムーズにしている。バスなど時には走りながら人を乗降させている。これは例外だろうが。一旦、渋滞が始まるとそうも行かない。血液が凝固して血栓だらけになっっているような感じ。ほとんど唯一の交通機関が車。鉄道はあっても、ジャカルタ近郊で僅かに機能しているが、他では走っているのにお目に掛かることも滅多にない。これは、インドネシアに限らない事情のようで、地球温暖化もこれを何とかしなければ成るまい。折しも原油の高騰。こういう人々の生活を直撃している。

自転車も少しは見るが、日本同様自転車は冷遇されている。

(毓堂 2005・8・28 記)

ニユリスに二喝!!

賽の河原の石積み

臃気な記憶だが、三途の川の河原で小さな子供が余念無く小石を積んで塔を建て

んな佛教の言説から出て「いくら積み重ねても無駄な努力」を言々と物の本にはある。

ていると地獄の鬼がやってきてはそれを蹴散らしていく。そこにお地藏さんがやってきて優しく慰めるといったような図があったように思う。浪花節にも、「一つ積んでは母のため……」などというのがあった。

賽の河原の石積みとは、こ

今度の小泉首相の靖国神社参拝を機にまたまた韓国・中国では日本に対する悪感情が燃え上がっている。十月十七日の参拝、その前日、私は中国にいた。首相の靖国参拝のことが食事中の話になった。中国・韓国の反応は分からないわけではないが、些か小泉首相ともども意地になり

過ぎていてのではないかと、何よりも、日本人の宗教感覚についてもう少し理解を深める必要があるのではないかと、といったような話だった。その明くる日に又参拝とは思っても寄らなかつた。一般人と一緒の参拝ということを政府では強調していた。気は遣っているのだろうが、その参拝がどれだけ日本国民一般に被害を与えるかということ

関係を積み上げていき、最悪の状態を何とか避けてきている。ところが、そんな努力もものかは、一度の靖国参拝で吹っ飛ぶ。この様子を見ていて、賽の河原の石積みを感じたのだ。

を考えると、政治家として、そして一国の指導者としては、相手の理解が得られるまでは差し控えるのが、まともな感覚ではなからうかと思う。

小泉首相が本当に国民のことを思うなら、その初心に戻って、教育に全力を挙げること、努力を集中すべきであり、多くの国民に迷惑が掛かることはやめて欲しいものだ。決して、先の衆議院選挙は、靖国参拝に賛意を表したものはかりではなからうかと思う。

首相の靖国参拝の度毎に日中・日韓関係は極端に悪化する。それを時間をかけてこつこつといろいろな細かなことから友好

(田 2005・10・26記)

国連発足の60年に考える

2005年10月24日 全学技術センター 河合利秀

今日10月24日は国際連合(以後国連と省略)発足から60年、人間で言えば「還暦」である。サンフランシスコで調印されたこの機関は、第二次世界大戦の悲惨な結末から学び、真に国際紛争の解決を目指すために設けられた。国連は機能しなかつた国際連盟の全会一致主義を改め、多数決主義を採用して紛争解決の可能性を拡大した。しかし、第二次世界大戦以後、米ソ二大勢力によって国連の機能は制限され、ソ連崩壊後は米国一國主義を是正できない。世界各国の紛争の解決も核兵器廃絶もおぼつかないまま、21世紀を迎えた。

このように、魅力が失せたかに見える国連だが、今人類が共有する唯一の汎世界規模の合法的且つ人道的機関として、その役割は大きい。

今、日本政府は国連の負担金を巡って不公平だとの議論を盛んに展開している。たしかにGDP比で比較すれば不公平のように思われる。しかし、日本が第二次世界大戦で犯した戦争の惨禍を思えば、日本国憲法となら

んで、経済発展を遂げた私たちが平和への貢献を実質的に証明できる最も確かなもののひとつではないか。安全保障理事国になれなかつたはらいせに負担金に文句を言うような後味の悪さはきわめて遺憾であり、国際社会での日本の立場を失墜させること甚だしい。

丁度よい機会なので、改めて国連憲章を読み直してみてもどうか。

国連憲章前文は以下のように記している。

われら連合国の人民は、われらの一生のうちに二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、基本的人権と人間の尊厳及び価値と男女及び大小各国の同権とに関する信念をあらためて確認し、正義と条約その他の国際法の源泉から生ずる義務の尊重とを維持することができると確信し、一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上とを促進すること並びに、且

つ、善良な隣人として互いに平和に生活し、国際の平和及び安全を維持するためにわれらの力を合わせ、共同の利益の場合を除く外は武力を用いないことを原則の受諾と方法の設定によって確保し、すべての人民の経済的及び社会的発達を促進するために国際機構を用いることを決意して、これらの目的を達成するために、われらの努力を結集することに決定した。

よって、われらの各自の政府は、サンフランシスコ市に会合し、全権委任状を示してそれが良好妥当であると認められた代表者を通じて、この国際連合憲章に同意したので、ここに国際連合という国際機構を設ける。

(以上、国連広報センターHP
<<http://www.unic.org/ja/know/kensyo.htm>>より抜粋)

この前文には、基本的人権と人間の尊厳を世界規模で尊重・維持するという理想が高らかに宣言されている。この精神は、日本国憲法にも通じるものであることを読み取ることができるとであろう。

しかし、植民地支配時代にくまなく経済格差は縮まるどころか今も拡大する一方であり、紛争地帯では人権が著しく脅かされ、今も無垢な子供たちが犠牲となっている。地球上すべての

人々が等しく享受されなければならぬ人権・平等・平和は、残念ながら実現していない。このような現実があるにもかかわらず、私たちが人類はこうした理想精神をどのように獲得してきたであろうか。

国連憲章はあまりにも理想主義であるという人々がいる。彼らは「理想と現実はかけ離れているからそんな理想は捨ててしまえ!」と言っているのである。しかし、もしこの理想を捨ててしまつたら、大国の横暴はますます膨れ上がり、貧困と殺戮にあえぐ国々の人々は死に絶え、恨みが恨みを呼んで、人類は奈落の底へと墮落するであろう。

国連憲章が掲げた理想とは、人類が犯したさまざまな失敗を糧とし、過ちを克服しようとしてきた人類の歴史そのものである。国連の各機関がいまもなおあらゆる困難を乗り越えて地道に一步一歩を刻んでいることを、私たちは人類の大きな進歩として学ばなければならぬのではないのか。

もう一度、ゆっくり考えてみようではないか。理想がなぜ叫ばれているか、理想とは何か、私たちが欲する未来社会とは何かを。

ひとりごと

再び授業アンケート

どうもこんなことにこだわるのは我ながら大人げないし、自分の心の小ささを告白するようなもので恥ずかしいのであるが、やっぱり腹に据えかねることがあるので、鬱憤はらしかたがた告白する。

今日のことである。非常勤先の大学のこと、例によって役にも立たないと思うような授業アンケート、時間を割いて学生に書いて貰った。随分お金を掛けてやるものらしい。

集めた後、ばらばらめくって見ていた。学生は勿論無記名であるから誰のかは分からない。例によって、板書がきたらないから分からないというのがあり、これは、一生懸命丁寧にしているが、まあ、事実だから仕方ない。本当は、もう板書はしたくない気持ちだけれども、どうしてもしなければならぬものもある。これは指摘されてもあやまるより仕方ない。早すぎるというのもあった。もっともっと、バカ丁寧になんかいでても同じ事やればいいのかも知れない

が、そうすれば、他の多くのまともな学生の響きを買うのがオチだろう。だから、これは聞き置くより仕方ない。毎回の小テストのことは割合好評。私語については、時間の前はやかましいので、注意するが、授業をしている間は静かなのでこちらとしても我慢をしている。何回もこんなことを注意するのは嫌だから。

受講の人数が多すぎることに對する不満は私の方が言いたいこと、私に對して言われても仕方ない。学生のやる気無さを指摘するもの、小テストの際の相談をとがめるもの、自分で書けと注意はするが、学生の中には前にも気になったけれども、あまり深刻に受け止めていなかったが、そういう学生が居ることはこれからは要注意だ。

但し、私が「こんなことも分らないのか」式の発言をしたと書いていた学生が居たことは見過ごせない。私は誓ってそんなことは言わない。言ったはず

もないし、言うつもりもない。私と言うのは、もっときちんと言け、正確に書け、分からないことが有れば何回でもいうから質問せよ、分からないことを放置するなということだ。私の言うことが分からないということ、バカに力にしたことは唯の一度もない。今言ったようなことを、バカにしているのとられたのかも知れないが、私の平生言うことを聞いていない証拠だろう。私が言おうとしていることは、学生がはじめから知っていることではないことぐらいいは心得ており、それだから丁寧に話しているの

だ。それをこんな風に言う学生が居る。こんな学生に一々目くじらを立てる必要はないのかも知れないが、無記名をいいことにこんな事実を反することを書かれるのは不愉快千万である。もっと酷いのが居た。細かなことは記憶していないが、教員の自己満足で授業をしているのがばかばかしいと。又何をかいわん。

去年の講義が良かったと言うのも二三人。来年は断ろう。言い口実が出来た。(T)

葬式屋

今の既成宗教が揶揄的に葬式屋と言われて久しい。葬式屋が悪いとは言わないが、宗教家には何かそれ以上の物が欲しい。人の葬式は、それ自体厳肅なもので、人の死は人々に人生のいろいろなことを考えさせる重要なきっかけである。

高齢化社会の到来と共に、当然ながら死者も高齢者が多くなった。それに比例して、働き盛りの突然死、若い人の不慮の死、

いたいけない子供の死などとは違って、人々の嘆き・悲しみは相対的に薄れてきたように思われる。そうかといって、人の死が厳肅な意味を失うわけではない。

世の中の種々の葬式を見てみると、まさに、それを利用していろいろな向きさもある。政治家の死などは最たる物かも知れない。弔問外交などとも言われる。それもそれで意義がある。政治家ならまさに以て

瞑すべしかも知れない。商売に利用する場合もある。葬儀がまさに生きている人のための物であることを雄弁に物語るものだ。以前物に書いたが、「故人の意志」などというものは全て生きている者の都合なのだ。元々、葬儀というものも元を辿れば死人が生きている者に危害を加えないようにという呪術的な側面が色濃くあったであろうから、一概に生きている者の都合を否定することも出来まいが。

こんなことを書くつもりではなかった。最近こういう事があった。葬祭産業が盛んであることはご承知の通り、儀式を司る坊さんそっちのけ、施主と葬儀屋で日取りも時間も何もかも取り決めてこれでやれという。こちらの都合それで良ければ、それでも良い。都合が悪かった。そうしたら、葬儀屋曰く、誰か他のお寺さんによって貰ってくれと。誠に失礼だと思っただが、怒っても仕方がないので、私は、お施主さんがそれでいいというならどうぞと答えた。さすがに、日頃付き合いのある施主はそういう選択はしなかった。

もし、日頃の付き合いがなければ、いわゆる「電話坊主」―葬儀だけを執り行う専門家がすでにいるのだが―が

葬儀を行ったらどう。とにかく、葬祭産業が盛んになったお陰で、家庭での葬儀はなくなり、家族は大変楽をしている。その結果、葬式も片づけ仕事になってしまい、坊さんも付けたりに過ぎなくなってしまう。

日頃の付き合いも大切だし、訳の分からぬ葬式をしてはいけなと思う。私はそれでいいぶん前から乗炬法語（いわゆる引導法語）と呼ばれているものを訳の分からない漢文訓読式のものやめて、話し言葉にし、死者に語りかけるようにした。初め、それを聞いた参列者から「あなたの宗旨ではああいいう風にするのですか」と聞かれた。「私は漢文訓読調の格調の高い法語は出来ないなあとするのです」と答えていた。最近では、故人の事績、故人の苦勞話、故人の功績等を簡単に織り込んだりした法語をする事によって、故人をしのび参列者を感動させたとまではいえぬにしても、しばしば故人をしのぶよすがになつたと思っている。

死後の世界がどうかは知らない。しかし、この世に生き、この世に別れを告げる儀式は故人をしのぶ人々と思いを共有しなければならぬ。(T)

教職員委員会活動日誌（2005年10月）

月日	事項	場所
10月1日(土)	東海地域センター理事会	大学生協東海会館
3日(月)	10月度常任理事会	ゆ〜どん
8・9日	全国理事会・全国委員会	東京・杉並
11日(火)	10月度第1回教職員委員会	IBカフェ
13日(木)	第3回映像で学ぶ「日本国憲法」連続学習会	ゆ〜どん
17日(月)	10月度理事会	フレンドリー南部食堂
20日(木)	平和憲章委員会	名大職組書記局
20・21日	第1回総代・組合員懇談会	ゆ〜どん・グリーンサロン
24日(月)	10月度第2回教職員委員会	IBカフェ
27日(木)	第4回映像で学ぶ「日本国憲法」連続学習会	ゆ〜どん
27日(木)	インターカレッジコープ愛知創立総会	大学生協東海会館

10月
の感想

瑞浪市の姿勢に感動

★瑞浪・中国人殉難者慰霊祭の記事を読んで、現在の日中関係が複雑で難しい状況の中、慰霊祭を行い続ける瑞浪市の姿勢に感動した。ニュースでは日本の悪い点が中心に取り上げられ、誤解もされているとは思いますが、こういう活動が必ずや実を結果と信じている。残念なのは、新聞記者の態度。公正公平・正義を求められる立場の者としての行動ではないと感じた。同じ日本人として恥ずかしく思う。【しの】

箸の持ち方の指導をこそ

★クイズは難しく、やりがいがあった。今後もこれくらいのレベルでお願いします。『ニュースに一喝!』に、「食べ物を手平に載せ、犬のように食べさせた」とあり、それでもしや先生が自分の手の上に食べ物を載せて、それを子供に食べるように指示したということか?と思

い(考えただけで気持ち悪い)、件の記事をインターネットで検索した所、子供自身の手の平に食べ物を載せて食べさせたということでした。置いてある食器に顔を近づけて食べることを「犬食い」とは言いますが、これだったら只の手づかみと変わらないように思いますが。しかし、食べるのが遅い子供にはきちんと箸の持ち方の指導をこそして欲しいと思いました。

【だるまおとし】

戦争や平和について考えた

★平和憲章エッセイには応募出来ませんでしたが入選作品を読んで、あたためて戦争や平和について考えました。

・オキ旅の記事を読んで、去年沖縄旅行に行ったことを思い出しました。また行きたいな。

・クイズ、ちよつと難易度が上がりましたね。息抜きにはこれくらいがいいかも。「文字」ではなく「絵」を希望。

【ouno】

日本植物学会の様子

わかって面白い!

【カズだよ、俺カズ。】

日本の教育も間違ってる

★「ニュースに一喝!」について。犬は普段は口で直接食べるので、手で食べるのを想像できないけれども、手で食べる人にも失礼ですね。個人的には犬にも失礼だと思ってしまうのですが。それ以前に、箸文化の中でむりやり手で食べさせる教師と、手で食べる文化がいくつかの国で実際にあるということをお教えな

【じじっくま】

意見と通信

研究科長インタビューに期待

★「かけはし」をもっと広めましょう。

・研究科長インタビューに期待しています。

【ouns】

学会の宣伝は

★学会の雰囲気はシリーズ化してはどうか。これなら宣伝したい学会もあるはずなので・・・

【カズだよ、俺カズ。】

図書券が廃止になって

★図書券が廃止になったわけですが、今後クイズの賞品はどうなるのでしょうか?

【だるまおとし】

▼図書カードにします。【編集部】

生協のイベントを載せてほしいです。

【しの】

院生の情報も

★機関誌の肩書きが「教職員・院生版生協だより」となっていますが、院生に関しての情報はあまり載ってないです。教職員さん向けの情報と、一般(全体)向けの情報で構成されていると感じます。せっかく院生も対象に居れるのですから、院生の組織(もしくは個人)と協力なり情報交換なりして、院生の情報もお知らせしてほしいですね。といって、お知らせする情報がそんなにあるのだろうか・・・

【じじっくま】

▼かけはしは教職員委員会が編集しています。院生委員会と連絡は取っているのですがなかなか書き手がないようです。

【編集部】

名大生協



「かけはし」編集委員会行

出 折 り

○氏 名 _____ 組合員証番号 _____

○所 属 _____ 研究科
学部 _____ 専攻・課
センター _____ 学科・掛 (教職員・院生)

○連絡先 _____ 内線 _____

○誌上匿名希望の方はペンネーム _____

出 折 り

- ①生協みかんの産地見学【11月23日】
②音としゃべりの金曜サロン「三味線やそすけライブ」【12月2日】
参加申込用紙

番号	氏 名	所 属	内 線	年 齢	組合員証番号

①の参加は保険の関係で年齢が必要ですので必ずご記入ください。

_____ アンケートに _____
_____ ご協力願います。 _____

第 262 号

クイズのこたえ _____

☆今月号を
読んだ感想

☆記事にしてほしいこと。生協へ
ご意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOPクイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をみれなく記入してください。

COOP QUIZ

No. 262
2005年11・12月号

縦と横に書かれた数字にしたがって
マスを書き込んでいくと絵（または文字）
が現れます。それは何でしょう。（ヒント＝〇〇ブレイク）



				2					
			3	2	3				
	2	1	1	1	1	2			
3	2	1	2	1	2	1	2		
1	1	3	2	1	2	1	1	1	1
7	2	2	1	1	1	1	1	2	2
								7	1
								2	4

	1	1	1						
	2	2	2						
	1	1	1						
	2	2	2						
	1	1	1						
			0						
			11						
			1	3					
	1	3	1	2					
1	2	2	1	1					
	1	1	1	1					
1	2	2	1	2					
		2	3	4					
		2	2						
			7						

クイズが解けたらぜひ応募してください。クイズの嫌いな方は、ご意見だけでも歓迎します。

前回の正解は「三味」でした。解き方がまだわからない方は、解答の絵の数字と黒マスの関係をよく見てください。

前回の
問題

	1	1	1	1	1		1		1
	1	1	1	1	1		1	7	1
1	1	1	1	1	1	1	1	7	1
						2	2	2	10
						2	2	2	10
						2	2	2	1

あなたもLogicの問題を創作(出題)してみませんか。問題の投稿も歓迎します。手描きでもOK。採用の方には図書券を進呈。

	1								
5	3	5							
1	1	1							
1	1	1							
5	3	5							
1	1	1							
1	1	3							
		3	5						
7	2	1	2						
2	1	2							

- 応募要項**
- 締め切りは12月16日
 - 発表は本誌、1・2月号
 - 正解者(但し、組合員)
 - 当選後ご加入も可、意見・感想記入者の方から、抽選で5人の方に図書券をさしあげます。
 - 生協への意見・要望をどしどしお寄せ下さい。

- 第261号の当選者
- ・応募総数 ……6人
 - ・正解者数 ……5人
 - ・当選者 (敬称略)
 - 加藤創史(環境学研究所)
 - 春原雅志(工学部)
 - 馬嶋大輔(工学研究所)
 - 浅野大介(工学研究所)
 - 光安 皓(所属不明)
- 以上の5人の方に図書カードをお送りします。

教職員加入・増資キャンペーン

生協教職員委員会では、生協強化月間に呼応して12月15日までの加入者および基本出資金2万円までの増資者に対してビッグなプレゼントを用意してあなたの加入または増資をお待ちしています。

生協は

組合員が自らが出資し、利用し、運営する組織です。

出資金は

生協の資産として運用され、施設の改善・改装などの多額の投資にも、借入金無しでおこなってこれました。

加入は

北部厚生会館2階の組合員コーナーにて受け付けています。

加入すると

- ・生協の書籍部で1割引で本が購入できます。年に数回15%off企画もあります。
- ・クレジット機能付の組合員証が手に入ります。
- ・脱退時には出資金は全額返ってきます。

今だけお得

- ・両面の名刺を100枚(3,500円～)以上作成補助券(2,000円割引券)がもらえます。
- ・学章商品がもらえます。
- ・教職員委員会の年内企画に半額で参加できます。

お問い合わせは：kumiaiin-corner@coop.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学消費生活協同組合

☎ <052>781-1111 (内線7540)

- 書籍(和書・洋書・雑誌)に関するご相談は ●旅行(国内・海外)・宿泊に関するご相談は
北部書籍(内線7544) 南部書籍(内線7551) 北部旅行・サービスセンター(内線7543)
医学部書籍(内線5208)大幸書籍(内線5552) 南部旅行・サービスセンター(内線7550)
- 文具・事務用品に関するご相談は 医学部旅行・サービスセンター(内線5213)
北部購買(内線7542) 南部購買(内線7549) ●印刷とデジタルデータに関するご相談は
医学部購買(内線5209)大幸購買(内線5552) 印刷・情報サービス部(内線7552)
農学部購買(内線7557)
- レストラン「花の木」(内線7605) ●パーティー料理・弁当に関するご相談は
弁当部(内線7553) 理系食堂(内線7555)